

現場名称	直江町の家 梅田様邸新築工事	監理項目「アンカーボルトチェック」
作成者	川本	



[工事遠景]

基礎立ち上がり部分の型枠が組み終わったとの連絡を受けて
 本日はコンクリート打設に先立ち「アンカーボルト」のチェック
 を行いました。
 擁壁の撥水塗装が施工されましたので濡れ色に濃くなり木目もよ
 り表情が出てきました。



[工事近景]

「アンカーボルト」というのは木造の柱と基礎をしっかりと固定
 するために構造計算上必要な金物で、コンクリートに埋めおくた
 め打設に先立って配置や本数に間違いがないかを事前にチェック
 しておきます。
 全て目視でチェックを行い、問題なく施工されていることが確認
 できました。



[止水材チェック]

アンカーボルトと併せて「止水材」のチェックも行っています。
 基礎は通常ベース部と立ち上がり部に分けてコンクリートの打設
 を行いますので、0.1mm単位で厳密に言えば隙間ができることにな
 ります。この打ち継ぎ部より上に水が溜まると隙間から内部に
 浸水してしまう恐れがありますので、僕の設計では打ち継ぎ部に
 止水材を指定しており外周部に全て施工されていることを確認し
 ました。
 この写真のオレンジ色のゴムのようなものが止水材でコンクリー
 トの成分と反応して膨らみ隙間に密に広がるようになります。
 止水材のジョイント部も斜めカットで合わせてありとても気の利
 いた施工がされておりました。